

## 1. ドイツにおける ITF 交通大臣会合の概要

### (1) 交通大臣理事会

令和8年5月7日、ドイツ・ライプチヒにおいて、金子国土交通大臣は、ITF の交通大臣理事会に出席しました。

会合では、日本が2028年から2029年にかけてITFの議長国を務めることが決定され、金子国土交通大臣から、加盟国やITFと緊密に連携し、しっかりと取り組んでいく旨を述べました。



(発言する金子国土交通大臣)



(交通大臣理事会の様子)

### (2) 公開大臣会合

ITFの公開大臣会合では、「レジリエントな交通への資金供給」をテーマに、加盟国の大臣、国際機関代表、民間企業経営者等による議論が行われました。金子国土交通大臣から、サプライチェーンの混乱や災害の激甚化・頻発化が社会経済に大きな影響を与える中で、官民が連携してレジリエントな交通の実現に向けて取り組むことが重要であるという日本の考え方を発信しました。

また、成田国際空港株式会社の藤井直樹代表取締役社長が基調講演を行い、交通インフラに対する効果的な投資を図るためのガバナンス、財源確保、関係者との協力のあり方について、同社の取組や日本の交通政策を交えながら訴えました。



(発言する金子国土交通大臣)



(藤井代表取締役社長基調講演)

### (3) 他国の大臣等との意見交換

金子国土交通大臣は、ITF 交通大臣会合に合わせて以下の要人と意見交換を行い、ITF の活動における協力や交通・インフラ分野における連携を深めていくことを確認しました。

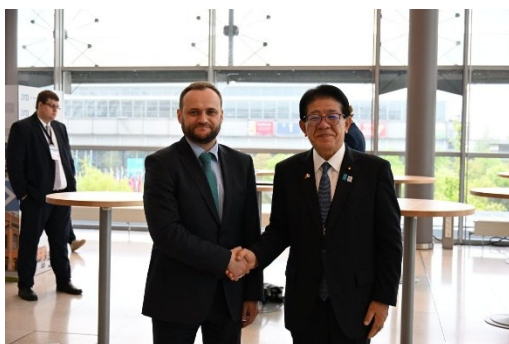
- ① ドイツ パトリック・シュニーダー連邦共和国運輸大臣
- ② チェコ イヴァン・ベドナーリク運輸大臣
- ③ ウクライナ オレクシー・クレーバ復興担当副首相兼地方・国土発展大臣
- ④ アゼルバイジャン ラシヤド・ナビエフ デジタル開発・交通大臣
- ⑤ トルコ アブドゥルカディル・ウラルオール 運輸インフラ大臣
- ⑥ ITF キム・ヨンテ事務局長



①ドイツ・シュニーダー大臣



②チェコ・ベドナーリク大臣



③ウクライナ・クレーバ副首相



④アゼルバイジャン・ナビエフ大臣



⑤トルコ・ウラルオール大臣



⑥ITF・キム事務局長



(ファミリーフォト)

## 2. イタリアにおける閣僚間対話の概要

### サルヴィーニ副首相兼インフラ運輸大臣との閣僚間対話

令和8年5月8日、イタリア・ミラノにおいて、金子国土交通大臣とマッテオ・サルヴィーニ副首相兼インフラ運輸大臣は、長大橋の建設をはじめとした日イタリア間におけるインフラ・交通分野における今後の協力について議論を深めました。その一環として、イタリアにて官民を交えた二国間の技術協力会議の開催調整を早急に行うことで合意に至りました。



(閣僚間対話の様子)



(イタリア・サルヴィーニ副首相)

### 3. イタリアにおける視察の概要

#### (1) ミラノ市のまちづくり

公共交通や自転車など複数の交通手段が輻輳するミラノ市の交通・まちづくりについて、視察を行いました。



(ミラノ市内を視察する大臣)

#### (2) ミラノ地下鉄4号線

日本企業の車両・信号システム等が導入され、完全自動運転が特徴のミラノ地下鉄4号線について、車両基地の視察を行いました。



(車両基地を視察する金子国土交通大臣)

#### (3) NTT データ・イノベーションセンター

日本企業が設置する先進技術研究・共創拠点であるイノベーションセンターにおいて、スマートシティを始めとしたインフラ関係の取組について、視察を行いました。



(イノベーションセンターを視察する金子国土交通大臣)